

Minami Kyushu University Syllabus							
シラバス年度	2021	開講キャンパス	都城キャンパス	開設学科	人間発達学部		
科目名称 [英語名称]	エコロジー入門 □			実務経験 教員担当		アクティブ ラーニング	○
科目コード	750182	授業形態	講義	単位数	2	配当学年	1-4年次
教員氏名	遠藤 晃			学位授与の方針 との関連			
授業概要	<p>環境問題は広く深く複雑で、私たちの日常生活も含め、産業、経済、社会、国際関係、法制度・政策などと直接・間接に相互関連しあっている。このような複雑な課題を取り扱い解決へと向かうためには、環境問題に関する個別の知識ではなく、「多面的な理解」や「知識や経験を関連付けて思考する能力」が必要となる。環境問題を社会問題としての側面だけでなく、基礎理論となるエコロジーの知識・スキルやその思考法をもとに深い理解につなげることが求められる。関連性の学問とも言われる「生態学」は、環境問題を考える基盤となる「知識」を与えるだけでなく、個別の知識を「関連付ける思考法(システム思考、エコロジー的思考)」を習得する機会を我々に与え、教員志望の学生にとっては、新・学習指導要領が求める「汎用的な知識・技能」「教科横断的な学び」の指導力の向上にも寄与することか?考えられる。</p> <p>本講義では、生態系概念など生態学の基礎知識を学ぶとともに、フィールドワークにより自然のなかに法則性を見</p>						
関連する科目	子どもと自然、環境教育論、環境教育演習 本講義は、環境問題演習の基礎編となる。						
授業の進め方と方法	15回の講義の前半は「生態系」という概念を深く理解するために生態学の知見を集積する。後半は個別の地球環境問題について原因と課題、解決策を探るなかで、個別の知識でなく、教科横断的で多面的な知識と知識の活用方法についての習得を図る。						
授業計画	<p><講義概要></p> <p>◎生態学的知識とエコロジー的思考</p> <ol style="list-style-type: none"> 1: 環境問題から何を学ぶのか? 2: 生物の適応 (adaptation) と進化 (evolution) / 生物が?多様であるのはなぜ? 3: 種多様性とそのメカニズム 4: 森林の成り立ち 5: 植物と昆虫の関係 6: フィールドワーク / ヤツデの指の数は8本? (自然の中に法則性を発見する) 7: データ収集と解析 / グラフの選び方、描き方 (発見した法則性を可視化する) 8: 植物と鳥の良い関係 9: 擬態 / 昆虫と鳥 10: 鳥の社会 11: データ解析 / 統計的検定 12: 性淘汰 (sexual selection) 13: 利他行動の進化 / 社会性昆虫と鳥類 14: 利他行動の進化 / 哺乳類 15: 持続可能な社会の構築のために 						
授業の到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・生態系に関する知識とエコロジー的思考法を習得する。 ・地球環境問題の主要事項について、現状と因果関係を理解する。 ・環境問題が、単に環境の問題ではなく、人権・平和に関わる総合的問題であることを理解する。 ・環境問題の解決方向について、事実把握、課題整理ができる。 ・汎用的な知識・技能や対話的で教科横断的な学びの視点を身につけ、その指導法のイメージを掴む。 						
授業時間外の学修	毎回の講義終了後に、講義内容を振り返り、内容に関連して自分が考えたことをまとめ、文章として表現するレポートを課す(1時間程度)。また、終了時に提示される課題の準備をしてくる(1時間程度)。不明な点は、担当教員に随時相談すること。						
課題に対する フィードバック	課題・レポートについては、随時解説する。		評価方法	講義への取り組みを、レポート、プレゼンテーション、意見発表、プログラムの作成、グループ活動に、主体的・協働的・創造的参画の観点から、総合的に評価する。評価基準につい			
テキスト	デイヴィッド・サダヴァ他「カラー図解 アメリカ版 大学生物学の教科書 第5巻 生態学(ブルーボックス)」講談社 1400円(税別)						
参考書	伊勢 武史「学んでみると生態学はおもしろい (BERET SCIENCE)」創元社 日本生態学会(編集)「生態学入門」東京化学同人						
備考							